

◇お知らせ◇

令和2年度 膵臓病研究奨励賞受賞者決定

公益財団法人 日本膵臓病研究財団

令和2年度膵臓病研究奨励賞の受賞者は、下記の12名の研究者に決まりました。

記

1. 吉田 直樹(東北大学大学院 医学系研究科 消化器病態学分野)
研究課題:新規膵炎原因遺伝子TRPV6変異による膵炎発症機序の解明
2. 伊東山 瑠美(熊本大学大学院 消化器外科学)
研究課題:セリン代謝シフトによる膵癌進展メカニズムの解明
3. 大森 優子(東北大学大学院 医学系研究科 病態病理学分野)
研究課題:胃型IPMN悪性化分子機構の解明
4. 三長 孝輔(近畿大学 医学部消化器内科)
研究課題:生活習慣の乱れに起因する腸管バリア機能の破綻がIgG4関連疾患・自己免疫性膵炎の発症に果たす役割の解明
5. 加藤 真吾(横浜市立大学附属病院 がんゲノム診療科)
研究課題:癌細胞の遺伝子変異に最適化した新規膵癌免疫療法の開発
6. 池永 直樹(九州大学病院 胆道・膵臓・膵臓移植・腎臓移植外科)
研究課題:膵星細胞が構築する免疫抑制性微小環境の打破を目指して
7. 有明 恭平(東北大学大学院 医学系研究科消化器外科学分野)
研究課題:膵癌における化学療法誘導性転移メカニズムの解明と治療法確立への挑戦の挑戦
8. 加藤 晃久(名古屋市立大学大学院 医学研究科消化器・代謝内科学)
研究課題:膵癌の予後不良因子であるRONを介する新たな治療戦略の研究
9. 伊藤 嵩志(関西医科大学 消化器肝臓内科)
研究課題:分枝型膵管内乳頭粘液腫瘍におけるインターロイキン35の解析
10. 高橋 賢治(旭川医科大学 内科学講座)
研究課題:膵癌におけるGNAS変異関連新規長鎖機能性RNAの同定及び新規診断法開発への応用
11. 山田 直也(自治医科大学 分子病態治療研究センター 炎症・免疫研究部)
研究課題:がん代謝の制御に基づくFerroptosisを標的とした革新的膵癌化学療法の開発
12. 高橋 良太(東京大学 保健・健康推進本部)
研究課題:アドレナリンシグナルによる膵臓癌微小環境制御機構の解明